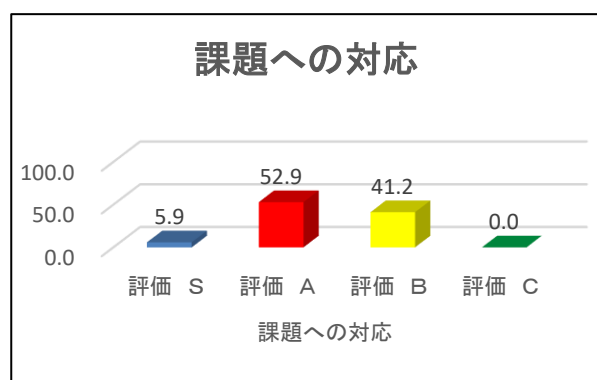
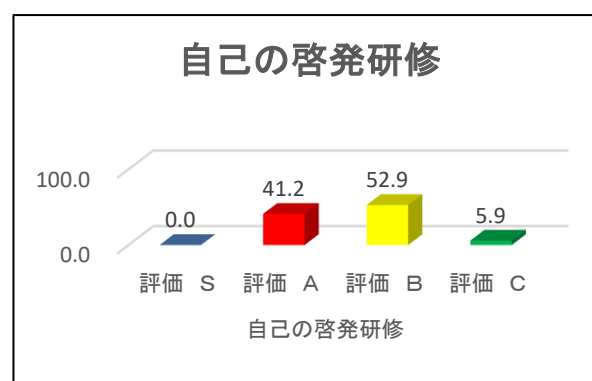
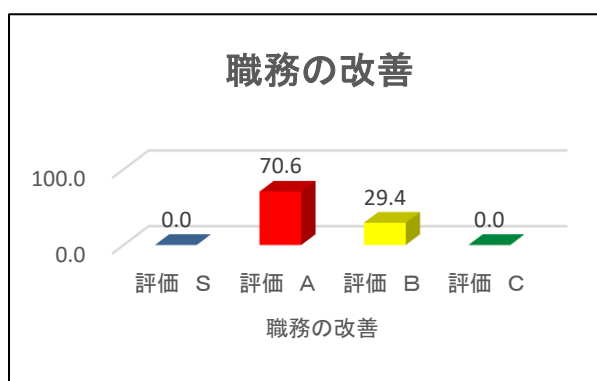
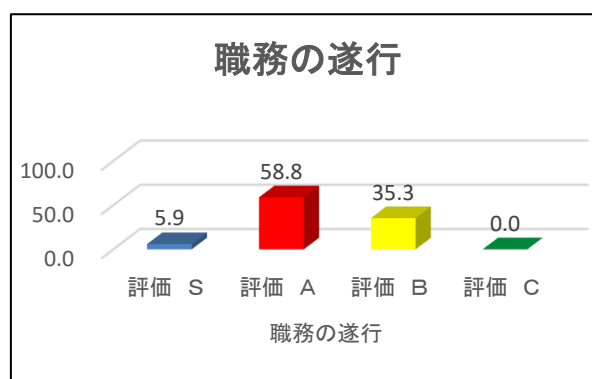
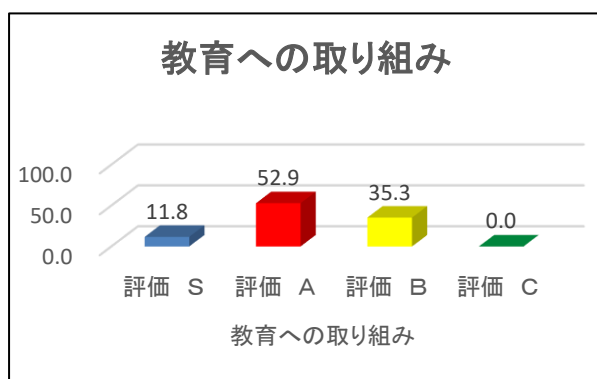


### 評価基準

職務遂行上必要とされている水準を

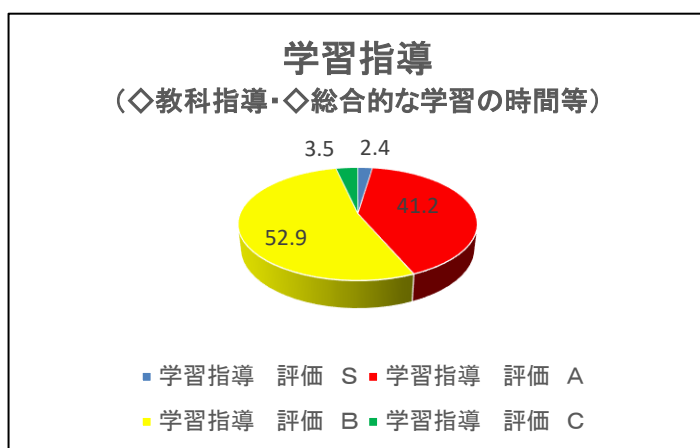
- S : 大幅に上回っている
- A : 上回っている
- B : ほぼ達成している。
- C : 達成されていない。



### 結果についての分析と改善策

令和6年度より、学習の振り返りや予習に取り組むことを目的として、全校生徒を対象にA1ドリルを採用した。隙間時間に効率よく取り組むことができ、大会や遠征中においても学習に向き合う習慣が根付いてきた。

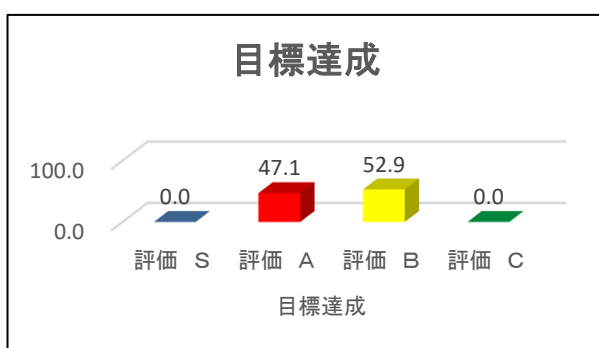
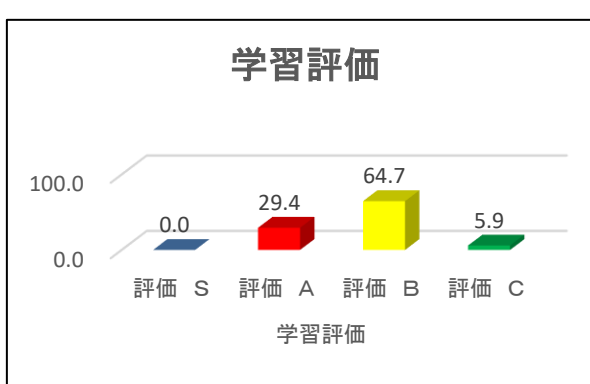
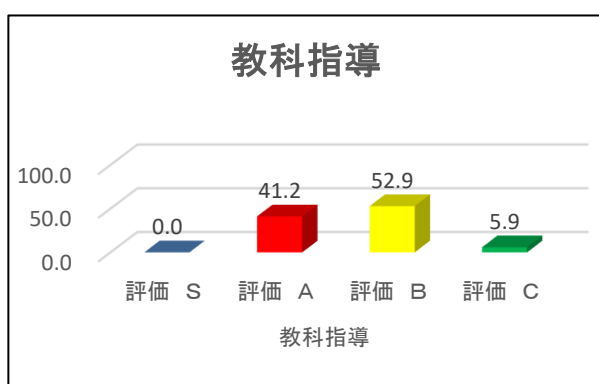
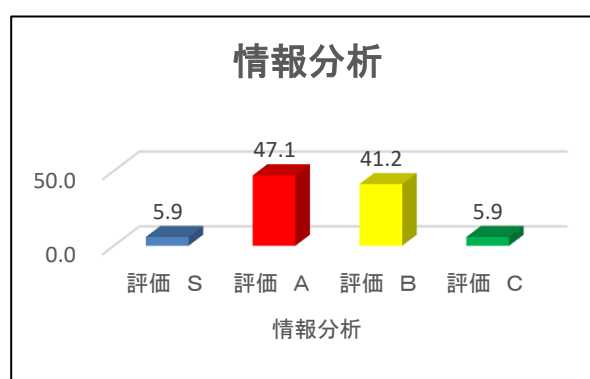
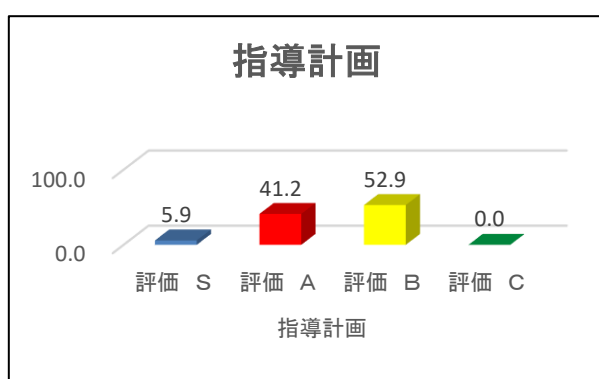
生徒の実態把握を明確に行い、生徒の心に寄り添った指導を徹底し、細やかな生徒指導を行った一方、特進コースと普通コースの校舎が離れていることから、連絡事項が徹底されなかった事案や、教職員の仕事量に偏りがあることが問題視される場面があった。教師間の寄り添いも大切に、「報告」「連絡」「相談」「確認」を徹底させ、中高一貫教育のメリットを最大



### 評価基準

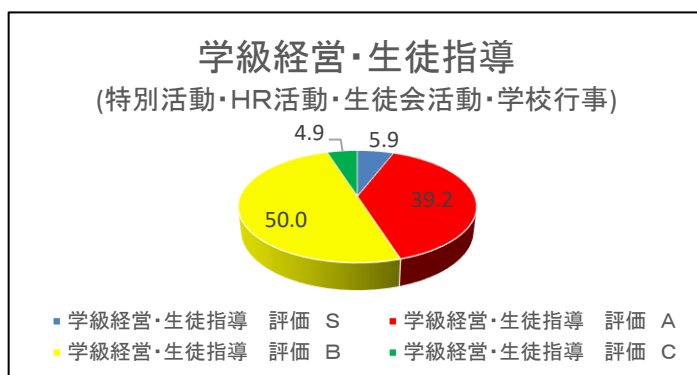
職務遂行上必要とされている水準を

S : 大幅に上回っている  
 A : 上回っている  
 B : ほぼ達成している。  
 C : 達成されていない。



### 結果についての分析と改善策

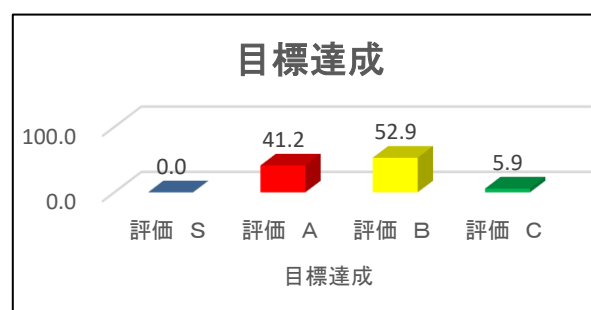
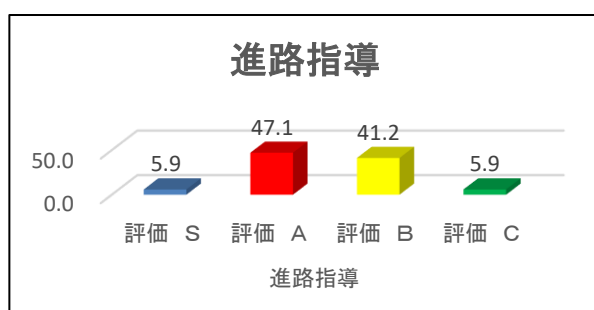
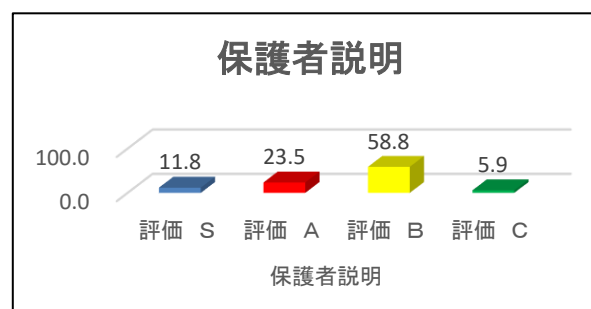
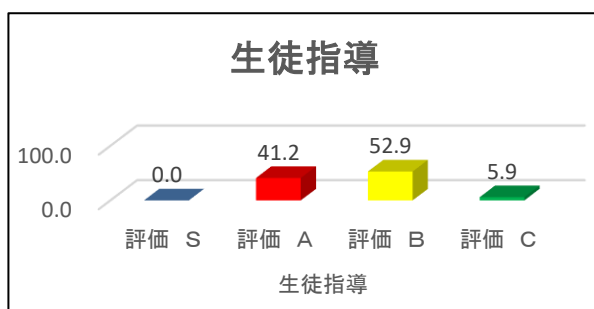
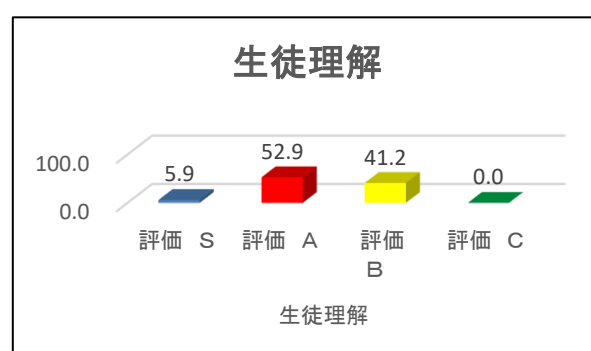
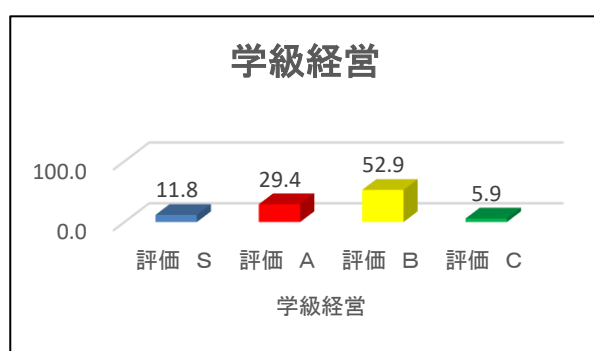
全教職員が学習指導に対して、職務遂行上必要な水準をほぼ達成していると評価している。しかしながら、教科指導や学習評価・目標達成については、まだまだ伸び代がある。校長からほぼ毎日配信されるショート研修資料を活用しながら、その課題克服に積極的に務めた。生徒に確かな学力を身につけさせるために、アンテナを高く情報を収集する努力を惜まず、今後はさらに、自ら学ぼうとする姿勢や態度で取り組み、積極的にアウトプットしていくことが



### 評価基準

職務遂行上必要とされている水準を

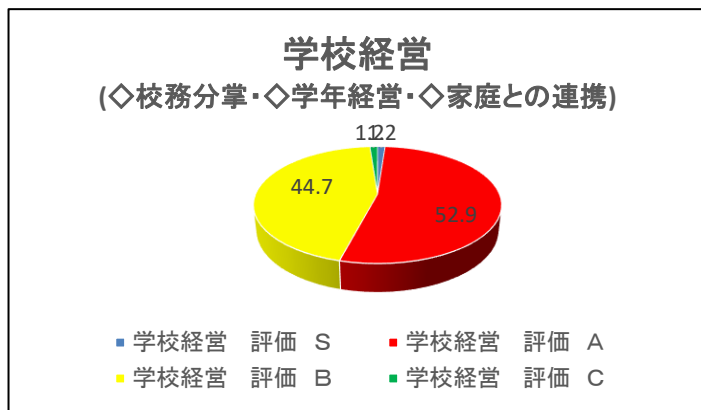
- S : 大幅に上回っている
- A : 上回っている
- B : ほぼ達成している。
- C : 達成されていない。



### 結果についての分析と改善策

自転車運転時のヘルメット着用が道路交通法において令和5年4月より努力義務となった。本校では生徒の安全を第一に考え、完全義務化した。そのことが新聞やニュースに数多く取り上げられ、交通安全のモデル校として青森警察署より表彰された。

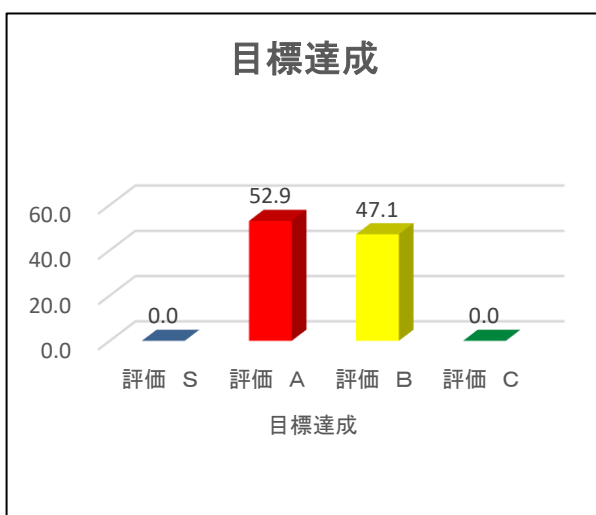
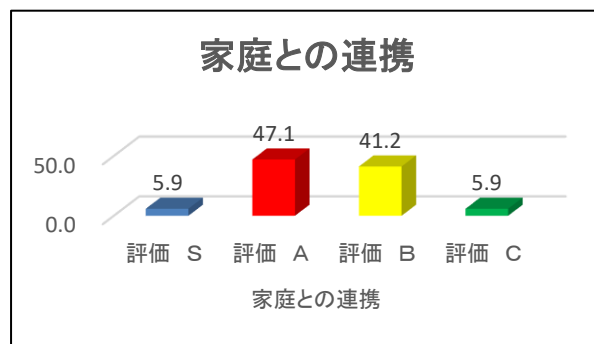
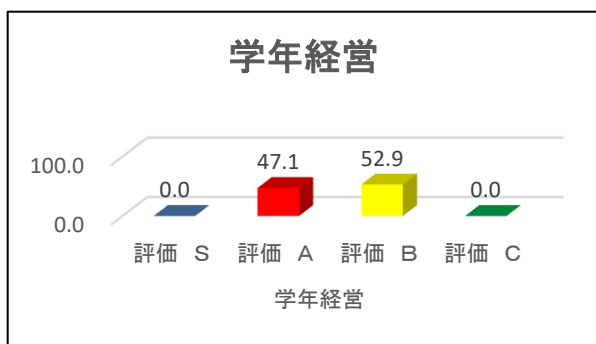
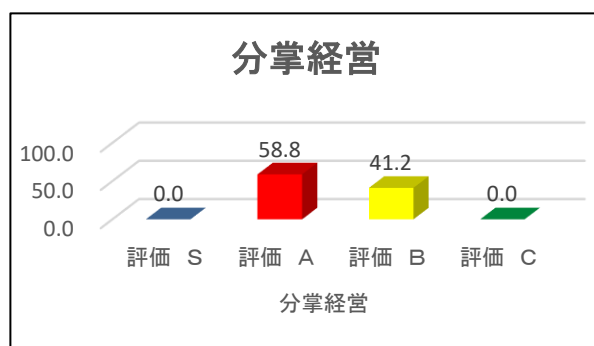
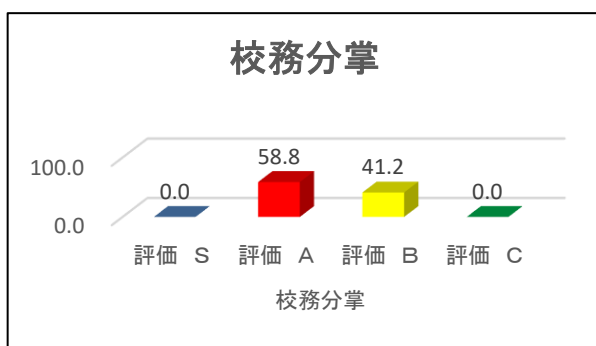
PTA活動において、父母と教師の会への参加率が低い状況となっている。県外からの入学生が年々増えてきたことが関係していると考えられる。遠方から来校することは経済的負担にもなることから、父母と教師の会をリモートで開催することも含め保護者と教職員がしっかりと連携できる方策を検討していく。本校では教育の目的として、「将来、人に迷惑をかけずに自分の力で飯を食っていける人間」となるよう共通指導している。そのため特別活動にも力を入れ、学年別に校外学習や体験学習を積極的にを行い、心の成長を育む



### 評価基準

職務遂行上必要とされている水準を

- S : 大幅に上回っている
- A : 上回っている
- B : ほぼ達成している。
- C : 達成されていない。



### 結果についての分析と改善策

令和6年度入学の生徒募集は「集まれ！未来のリーダーたち」をキャッチフレーズに、本校の魅力を積極的に発信して生徒募集を行った結果、80名の新入生を獲得することができた。学校説明会は感染症がしっかりと終息していないことから、直接の参加と動画視聴の2択で呼びかけた。その結果、直接の参加は65家庭・154名、動画視聴での参加は60家庭だった。特進コースの勉強会や各部活動の練習会も複数回開催し、本校の魅力を伝えることができた。また、北海道・東北・関東の小学校高学年の母親世代をターゲットに、SNSを駆使し本校の魅力を配信した。

校舎が2つに分かれていることにより、生徒指導が徹底されない場面や行事開催にも不都合が生じた。そのことによる教職員の負担は大きい。令和7年度に向けて、全校生徒が一つの校舎で学習することを検討課題とする。寮生が多く、基本的な生活習慣が確立されていない生徒や集団行動が苦手な生徒もいる。生徒からの細かなサインを見逃さず保護者との連携を密に行い、正確な情報を保護者に連絡する手段として緊急配信メール